

シラバスの活用方法

本シラバスは毎日必ず携行し、授業の前後に記載内容を確認しながら、能動的に学習を進めてください。各授業科目における記載項目、内容およびそれらの活用方法は以下の通りです。

【記載項目】

◆**対象学年**：開講学年と時期（前期・後期）

◆**責任者名**：当該授業科目の責任者名

◆**授業形式等**：講義・演習・実習、必修・選択必修・自由選択、単位数

◆**一般目標**（General Instructional Objective：GIO）

学習者が学習することにより得られる成果を総合的に示したもので、当該授業科目を終了した時点で達成されるべき目標です。

◆**行動目標・到達目標**（Specific Behavioral Objectives：SBOs）

SBOsはGIOを達成するために必要な具体的・観察可能な行動を示しています。

チェック欄を設けていますので、授業の進行に応じて到達度を確認するときに利用しましょう。

講義科目においては、定期試験前にも必ず確認してみましょう。

薬学教育モデル・コアカリキュラム、実務実習モデル・コアカリキュラムには掲載されていない本学部オリジナルの到達目標には（オ）を付しています。本学の特色を確認しましょう。

◆**評価方法**

各授業科目における評価方法を記載しています。

複数の評価方法がある場合には比率を明示していますので予め確認しておきましょう。

目標への到達度は、知識については定期試験における論述試験や客観試験で、技能・態度については実地試験や観察記録などで測定されます。

◆**オフィス・アワー**

科目責任者や授業担当者の連絡方法を記載しています。

授業内容に関する質問や学習方法に関する相談などを行う際に利用してください。

◆**授業概要**

当該授業の概要を記載しています。初回の授業前には必ず確認しましょう。

◆**教材**（教科書、推奨参考図書、プリント等）

当該授業において使用する教科書・教材および教員推薦の図書などを記載しています。

授業中だけでなく予習・復習などの自己学習を充実するためには、教科書だけでなく、参考書も積極的に利用しましょう。

◆**準備学習**（予習・復習）

1単位は45時間の学習に相当します。

講義科目では、教室での講義は90分授業10回（計15時間）で構成されていますので、1単位の学習には講義の受講に加えて予習・復習が30時間必要です。

本欄に記載されている担当教員からの指示にしたがって、予習・復習を実施しましょう。

◆**全学年を通しての関連ユニット**

各授業科目は独立しているのではなく、授業科目間で内容は関連しています。また、学習内容は学年が進行するに従い、ステップアップします。科目間のつながりを本項目で確認すると共に、関連図で全体像を把握しましょう。

◆**担当教員**

当該授業を担当する教員です。質問や相談する際に確認してください。

◆**予定表**

授業の各回の学習項目、学習内容、対象SBO、担当教員を表にまとめています。

学習項目、学習内容、対象SBOは、予習や復習の際には必ず確認しましょう。